

企業の皆様へ

2019年度

知財金融促進事業のご案内

～金融機関は、企業の技術・ノウハウ・ブランド等（知財）を把握し、企業成長を支援しています～



特許庁は、中小企業の経営資産である知的財産権（特許・商標等）について、専門の調査会社はその内容等を含めビジネス全体を評価した「知財ビジネス評価書」を、地域金融機関に無料で提供しています（知財金融促進事業）。



知財ビジネス評価書とは？

知的財産に詳しい専門機関が、収益源となっている技術・ブランド力の優位性、市場の成長性、競合企業の特徴などを分析し、とりまとめた評価書です。



金融機関は、「知財ビジネス評価書」を何に活用？

取引先企業の理解を深めて、**与信判断**や**企業の成長支援**などに活用しています。評価で経営課題が見つかった場合、その解決の支援に活用することもあります。



「知財ビジネス評価書」は、どこの銀行が活用？

これまで、全国204の地域金融機関（地方銀行、信用金庫、信用組合）で活用されました。毎年、活用する金融機関は増えています。

裏面で紹介

「知財ビジネス評価書」は、企業の皆様にもご活用いただいています。ご興味のある方は、取引のある金融機関に、本事業をご紹介ください。

「知財ビジネス評価書」は、金融機関からのお申込みとなります

【問合せ先】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
知財金融促進事業 事務局
電話 03-6733-1405

事業の詳細は「知財金融ポータル」へ！





企業における「知財ビジネス評価書」の活用例

「知財ビジネス評価書」がどのように利用・活用されたか、企業・金融機関からコメントをいただいています。その一例を紹介します。

- 経営課題の抽出に役立った。
- 経営改善を意識し、黒字転換につながった。
- ブランドの認知度の低さを痛感。営業方針の練り直しに活用。
- 販路開拓に有効な情報が含まれており、利用した。
- 自社の強みを再認識し、営業担当がその強みを利用。
- 技術売り込みの活性化につながり、メディアに取り上げられた。
- 技術部門など、社員のモチベーションが向上した。
- 第三者の評価書のため、対外的に信頼性のある説明ができるようになった。 など

金融機関を対象とした、知財ビジネス評価書・知財ビジネス提案書（注）作成支援の**公募説明会・セミナー**を、以下のとおり開催いたします。

取引のある金融機関にぜひご案内ください。

2019年6月3日（月） 13:15～17:00	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
2019年6月4日（火） 13:15～17:00	TKP名駅桜田通口カンファレンスセンター
2019年6月5日（水） 13:15～17:00	AP大阪駅前梅田1丁目
2019年6月6日（木） 13:15～17:00	リファレンス駅東ビル貸会議室（博多）

注：知財ビジネス提案書・・・2019年度から、新たに提供支援を予定。知財を切り口としたビジネス評価に加え、**新規事業候補などの企業成長につながる「提案」を専門会社が作成**します。

※ なお、説明会の前（同会場、12:30～13:00）に、**日本弁理士会「弁理士絆（きずな）プロジェクト」による、知財の基礎セミナー**を開催します。 ※無料・参加自由